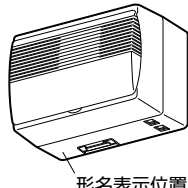


三菱パイプ用ファン
 (給気・循環ユニット・居室用)

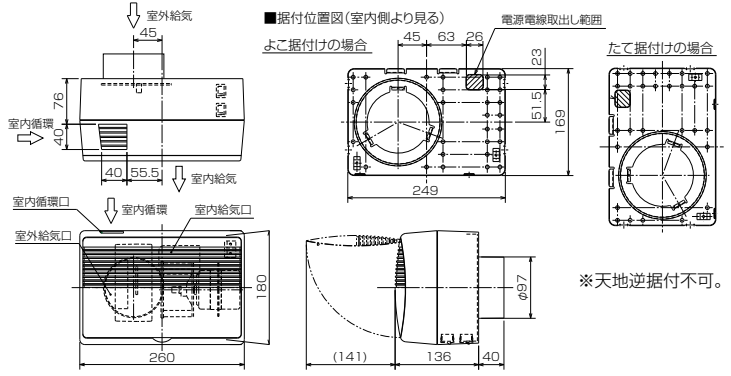
形名
V-08PQMX2-KF
 (アレル除菌フィルター搭載タイプ)



形名表示位置
 販売店・工事店様用

据付説明書

■外形寸法図

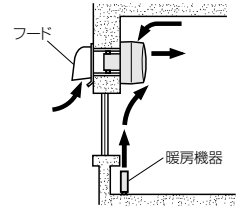


■同梱部品

- 木ネジ……………4本
- 本体固定ネジ……………2本
- クッション
 黒色……………1本
- 運転保持シール
 強運転用……………1枚
- 弱運転用……………1枚

据付前のお願

- お願い**
- 高温(40℃以上)になるところに据付けないでください。
 故障の原因。
 - 塩害、温泉害の発生している場所には据付けないでください。
 故障の原因。
 - 風雨が強く下側から吹き上げがある場合は、システム部材の耐外風高性能フードを据付けることをおすすめします。
 - アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。
 振動の原因。
 - 燃焼排ガスなどを吸込むおそれのあるところには、設置しないでください。
 - 下記環境下で使用しますと、本体から結露水が滴下することがあります。
 (屋外温度-10℃以下で室内温度15~25℃・室内湿度45%以上)
 - 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上離れたところに据付けてください。
 - プラグ付電源コードは使用しないでください。
 (内部コンデンサに蓄電されています)
 - 冬期の場合、より冷風感を軽減するために、下図のような設置をおすすめします。



別冊の「取扱説明書」はお客様用です。
 据付け終了後は、必ずこの説明書とともにお客様にお渡しください。

- 据付けを始める前に、この説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。
 (間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります)
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は居室に据付けてください。
 それ以外の用途・場所には使用しないでください。
 (故障の原因になります)
- この製品は壁据付専用です。天井には絶対に据付けないでください。
 (スイッチの操作やフィルターのメンテナンスができなくなります)
- 外風の吹き付けの強い場所では耐外風高性能フードを据付けることをおすすめします。
 (壁面汚れ、雨水浸入、異常音発生の原因になります)

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。
- 図記号の意味は、次のとおりです。

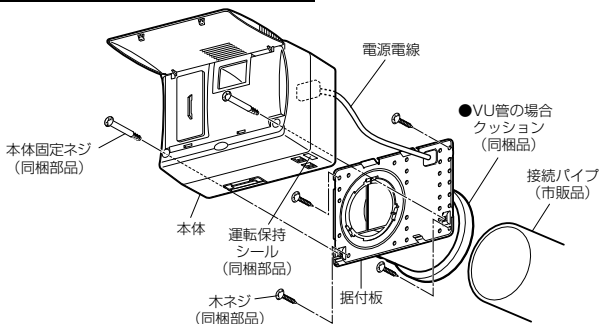
警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

| | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。 修理はお買上げの販売店または「三菱電機ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。 | <p>交流100Vを使用する 火災・感電の原因。</p> |
| <p>水ぬれ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因。 | <p>外気の取り入れ口は燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因。</p> |
| <p>風呂・シャワー室での使用禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気の多いところには据付けない 感電・漏電の原因。 | <p>指定の電線を使用して、抜けないように接続に不備があると火災の原因。</p> |

注意 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

| | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高温(40℃以上)になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所で使用しない 火災の原因。 | <p>システム部材(別売)の屋外フードを据付ける 雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因。</p> |
| <p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●端子台カバーは据付後必ず取り付け ほこり・湿気などにより漏電火災の原因。 ●据付けの際は必ず手袋を着用する 着用しないけがの原因。 ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。 ●パイプは屋外に向かって下りこう配になるように据付ける 雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因。 | <p>電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電・火災の原因。</p> <p>電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。</p> <p>据付け後、長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。</p> |

同梱部品の使用箇所

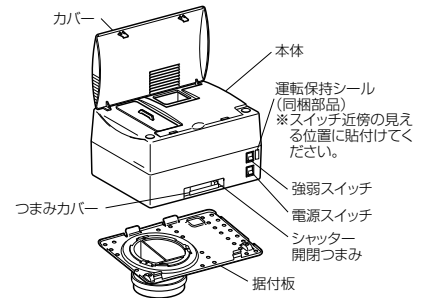


据付方法

1. 据付前の準備

1. 据付板をはすす

本体背面のテープをはがして、据付板をはすす。



2. 接続パイプの準備

接続パイプは塩化ビニール管の薄肉(VU)管(内径107mm)、厚肉(VP)管・鋼板管(内径100mm)またはこれに相当する内径のパイプを用意してください。

お願い

- アルミフレキシブルダクトは堅固な据付けができないため使用できません。

VP管・鋼板管の場合 (内径100mmのもの)

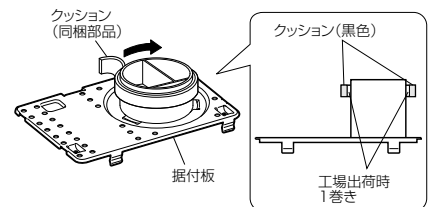
そのまま挿入する。

VU管の場合 (内径107mmのもの)

本体パイプ部クッション上に付属のクッション(黒色)をかさねて巻き付ける。

お願い

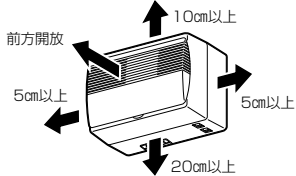
- クッションの貼付けを確実に
 行わないと、パイプと本体のすき間から雨水等が浸入して壁を汚すことがあります。
- クッションは本体下部に合わせ目がないように巻き付けてください。



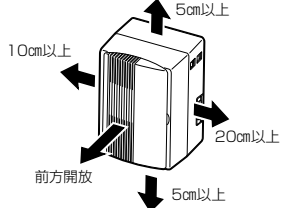
2. 壁穴工事

- 本体の周囲には下記の寸法以上の空間が必要です。

よこ据付けの場合

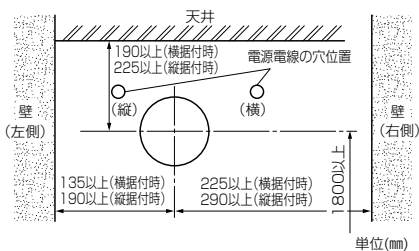


たて据付けの場合



- (1) 据付位置を決めパイプの穴をあける。

- 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。

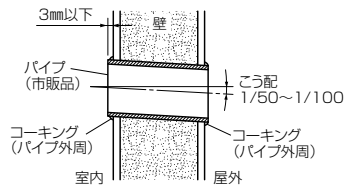


- (2) 屋外に据付けるシステム部材（フードなど）のパイプ接続部と本体が当たらないようにパイプの長さを決める。

- パイプが室内側壁面からでる寸法は3mm以下としてください。

- (3) 壁穴にパイプを差し込みコーキングして確実に固定する。

- 固定が不十分ですと振動したり異常音を発生する原因になります。
- 屋外に向かって下りこう配をつけ固定してください。



注意

- パイプは屋外に向かって下りこう配になるように取付ける。雨水浸入による感電火災や家財を濡らす原因。

3. 電源電線の引き出し

- 外形寸法図を参照し、電源電線を室内側へ引き出す。電源電線はVVF単線2芯φ1.6またはφ2.0をご使用ください。

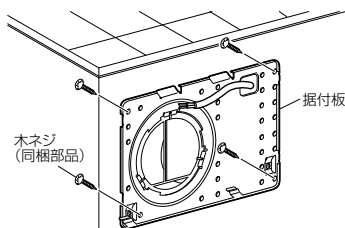
4. 据付板の取付け

据付板を固定する

据付板の水平を確認し、補強材のある位置に木ネジ4本（同梱）で据付板を固定する。

お願い

- 木ネジはできるだけ4すみの均等な位置で固定してください。
- 据付板は水平（1°以内）に取付けてください。
- コンクリート壁の場合はコンクリートビスで固定してください。（市販品）



5. 電気工事

警告

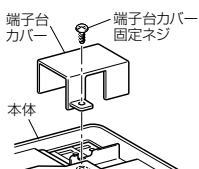
- 交流100Vを使用する。火災・感電の原因。
- 指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する。接続に不備があると火災の原因。

注意

- 電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

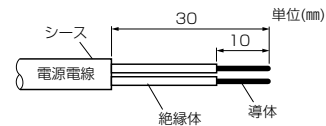
1. 端子台カバーをはずす

- (1) 端子台カバー固定ネジをゆるめて、端子台カバーをはずす。



2. 結線をする

- (1) 電源電線を右図の寸法にて皮むきし、結線図のとおり結線をする。
- (2) 端子台から電線が抜けないことを確認する。

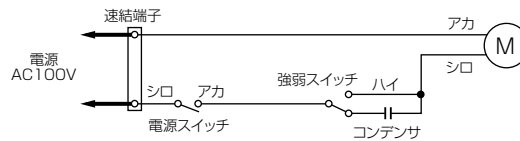


- 電気工事は、電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従って安全・確実に行ってください。

- 太線部分の結線をしてください。

※太線部の結線はお客様に結線してください。

交流100V専用・誤結線注意

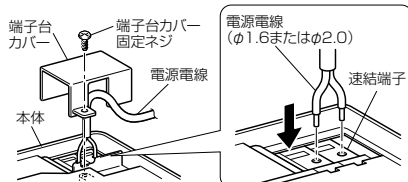


- 適用電線：VVF単線2芯φ1.6またはφ2.0

3. 端子台カバーを取付ける

- (1) 端子台カバーを取付ける。
- (2) 端子台カバー固定ネジで端子台カバーを固定する。

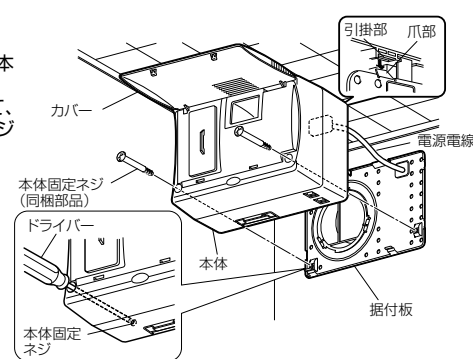
- 端子台カバー側壁にて電源電線をはさまない様、端子台カバーを取付けてください。



6. 本体の据付け

本体の固定

- (1) 据付板爪部（上側）に本体を引掛ける。
- (2) 本体を壁側に押しつけて、カバーを開け本体固定ネジ2本で固定する。



据付け後の確認

- 据付け終了後、試運転の前に下表にしたがって点検します。
- 不具合があった場合は必ず直してください。（機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません）

| | チェック項目 | 不具合時の対策 | チェック |
|-----|-------------------|-------------------------------|------|
| 据付け | 本体の据付け強度は十分ですか？ | 補強する | |
| | 本体が確実に据付けられていますか？ | 本体固定ネジを締め直す | |
| | コーキングはしましたか？ | コーキングをします（コーキングをしないと雨水が浸入します） | |
| 試運転 | 電圧は交流100Vですか？ | 交流100Vに直します（異電圧を印加すると破損します） | |

試運転

- お客様立合いで、試運転を行ってください。

1. 電源を入れる

1. 分電盤ブレーカーを入れる。
2. 電源スイッチを入れる。

2. 異常な振動・騒音がないか確認し、確認後停止する

- 本体スイッチおよび分電盤ブレーカーを切る。
- つまみカバーを開き、シャッターを閉じる。

3. お客様に強あるいは弱運転を保持していただくために同梱の運転保持シールをスイッチ近傍の見える位置に貼付けてください。

お願い

- 試運転が終了したら本体スイッチを「切」にしてください。また、シャッターを閉じてください。（お客様がご使用になるまで製品内にほこりが入らないようにするため）

お客様への説明

- 分電盤ブレーカーの位置をお客様へ説明してください。
- チェック表の結果をお客様へお知らせください。
- この「据付説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客様にお渡しください。
- お客様が不在の場合は、発注者（オーナーなど）または、管理人へ説明してください。
- 別冊の取扱説明書に従って正しい使い方をお客様または発注者（オーナーなど）や管理者へ説明してください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号